

1 学校教育目標

○ よく考えすすんで学ぶ子 ○ やさしさと思いやりのある子 ○ 明るく元気な子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	足立小学校の理念「期待の登校・満足の下校」 ○ 全ての子供が学ぶ喜び、友達とかかわり合う喜びを味わえる楽しい学校 ⇒「子供にとって安全・安心な学校」 ○ 教職員が一体となって子供の育ちを支え、その成長を共に喜び合える学校 ⇒「教職員が高め合う学校」 ○ 保護者が我が子を通わせてよかったと実感でき、地域からも信頼される学校 ⇒「保護者や地域とともに子供を育む学校」
○児童・生徒像	○ 話をしっかりと聞き、主体的に学び、自分の考えや思いを表現できる児童 ○ 互いの違いやよさを認め、仲良く助け合い、協力し合って活動できる児童 ○ すすんで体を動かし、心身共に健康で自分のめあての実現を目指して努力できる児童
○教師像	○ 全ての児童の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導ができる教師 ○ 児童に求めることは自ら率先垂範し、自ら学び続ける教師 ○ 学校に求められる課題を真摯に受け止め、経営参画意識をもって取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

開校14年目、「期待の登校・満足の下校」を理念とし、学校教育目標の達成に向けて取り組んでいる。知的障がい特別支援学級や視覚障がい通級指導学級の設置校であることから、一人一人の特性と多様性を大切にした教育を進めている。

【前年度の成果と課題】

重点目標である「学力向上アクションプラン」については、足立スタンダードが定着してきたが、ICT機器の活用は、より効果的な活用が必要である。若手教員を中心に一層教科指導専門員等を活用し、授業力向上を図ることができた。学校評価アンケートや児童質問紙から、①学校での授業は分かるが、勉強はあまり好きではない児童が多いこと、②家庭学習の習慣が十分に身に付いていないこと、③読書習慣が十分に身に付いていないことが本校の課題である。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	安全・安心な学校づくりの推進					
3	保護者や地域と共に子供を育む活動の充実					

5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
確かな学力の定着		<ul style="list-style-type: none"> 区調査目標通過率 85% 到達度確認テスト 80% 							
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	分かる授業の推進	全学年 全教科	通年	足立スタンダード虎の巻に基づく学力の定着、SP表等の活用による分かる授業の推進	学習意識調査 (独自調査) 1月に実施	「学校での授業は分かる」 肯定的な回答 4月から+5%			
2 新規	児童主体の授業への転換	全学年 全教科	通年	ICT や学校図書館等を活用した、対話や協働を重視した探究的な学びの推進	学習意識調査 (独自調査) 1月に実施	「勉強が好き」 肯定的な回答 4月から+5%			
3 新規	教育DXの推進	全学年 全教科	年間	足立区教育DX推進プランの活動指標(KPI)に示す場面(①～⑤)におけるタブレット端末の活用促進	自己申告面接 (年3回)及び週案	児童の週3回以上の端末活用 100%			
4 継続	初期の読みの力の育成	1学年 国語等	年間	多層指導モデルMIMの実践、MIM-PMの実施及び個別の配慮計画に基づく個別指導の徹底	MIM-PMの実施(月ごと)	3rd児童の割合 10%以下 (3月)			
5 継続	教科担任制等の実施	全学年 一部教科	年間	授業の質の向上、各教科の専門性向上、多面的な児童理解の深化	学校評価アンケート 授業観察	「児童がすすんで学習に取り組むことができるように授業を工夫」 肯定的回答 90%以上			

重点的な取組事項－２		安全・安心な学校づくりの推進			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
子供がより安全に、安心して学ぶことができる学校環境の整備		学校評価アンケート(以下の3項目)			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1)安全な学校環境の整備	学校評価アンケート 「学校は、児童が安全に過ごせるように指導するとともに、施設、設備、体制を整備している」 肯定的回答 90%以上	①地域の災害リスクを踏まえた実践的な避難訓練、安全指導の充実、荒川の水害をテーマとした防災教育の実施 ②家庭・地域等の連携による登下校時の安全管理の充実 ③子供目線の安全点検の実施			
(2)健やかな心と体の育成	学校評価アンケート 「学校は、児童が運動に親しみ、体力が向上するように取り組んでいる」 肯定的回答 90%以上	①児童の実態を踏まえた体力向上の取組(元気アップタイム)の充実 ②歯みがきタイムの実施による歯みがきの習慣化、家庭への啓発			
(3)誰もが学び、生活しやすい環境の構築	学校評価アンケート 「学校は、誰もが学び、生活しやすい環境を整えようとしている」 肯定的回答 90%以上	①社会モデルを理解するための「ふつうアップデート」授業による多様性理解の促進 ②一部教科担任制等による多面的な児童理解に基づく生活指導の推進 ③いじめアンケートやWEBQUを活用した相談体制の充実 ④コミュニケーションの教室における個別指導・小集団指導の充実、在籍学級との連携強化 ⑤組織的な不登校への対応及び関係機関との緊密な連携			

重点的な取組事項－3		保護者や地域と共に子供を育む活動の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域と連携した教育活動の充実		学校評価アンケート(以下の3項目)			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1)学校と保護者、地域との連携	学校評価アンケート 「学校は、保護者や開かれた学校づくり協議会との連携を深めようとしている」 肯定的回答 90%以上	①保護者や開かれた学校づくり協議会と連携した交通安全や花壇整備、学力向上等につながる取組等の充実 ②地域の人材・学習材を効果的に活用した取組の実践			
(2)情報発信の充実	学校評価アンケート 「学校は、保護者、地域に教育活動を参観したり報告したりする機会を適切に設けようとしている」 肯定的回答 90%以上	①学校ウェブサイトや C4Th Home & School による教育活動の積極的かつ定期的な配信 ②授業公開や保護者会等の実施の工夫 ③学校評価の実施及び報告の工夫			
(3)望ましい人間関係の構築	学校評価アンケート 「学校は、児童にとって楽しく充実した学校行事や活動を計画、実施している」 肯定的回答 90%以上	①「夢デザインシート」等を活用したキャリア教育の充実 ②異学年交流活動(ハロハロ活動)等の充実 ③学級活動やクラブ活動、学校行事等を通じた、積極的に集団に寄与する態度の育成			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

自己評価の際に記入します。

(3) その他（学校教育活動全般について）